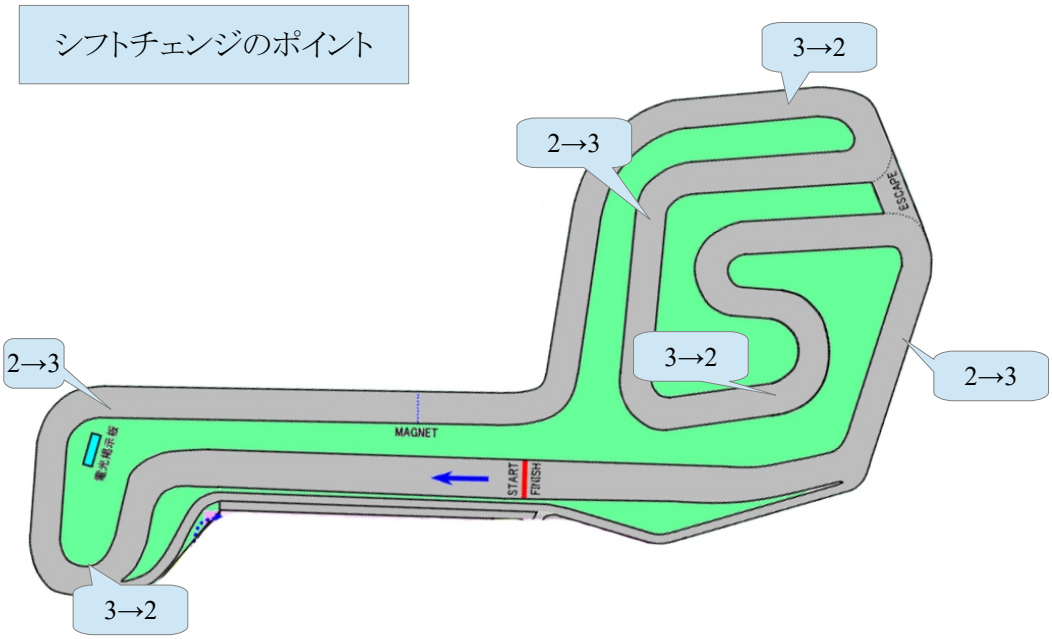
How to カブレーサー（基礎編）

1. チェンジの仕方とコツ
シフトペダルはシーソー式で、ロータリーミッションの3速（4速もあります）
ニュートラル状態からペダルの前を踏んで1、2、3速、
走行中は3速から前へ踏んでもニュートラルには入りません。
後ろのペダルを踏んで2、1、ニュートラルです。
明智走行ではスタート以外2、3速しか使いません
シフトポイントは下の画を参考に！
まずはシーソーペダル＆ロータリーミッションに慣れるところから('ω')ノ
☆コツ
☆3速目がワイドレンジなので2速で目いっぱい引っ張らないと3速で伸びません。
回転計が無いですが、イメージエンジンが唸るチョイ前でシフトする感じ(笑)
（レブは11,000rpmに設定。レブに当てても壊れる事は
ありませんがそこまでは使いません）

☆チェンジペダルを踏み切った状態ではクラッチが切れるので、
シフトダウンの際に上手くアクセル操作すれば回転を合わせられます。
３→２のエンブレが強いので多少穏やかになります。



3.ブレーキングのコツ
ブレーキは前後ドラムブレーキで基本的にあまり制動力はないです。
エンブレとリアブレーキをメインに！フロントはサブ的に使います。
フロントはサスの構造上フロントブレーキを握るとサスが伸びます。
ハードブレーキングは車両が立っているうちに行います。
コーナリングの動作に入ったらフロントブレーキは基本使いません。
フロントブレーキを解放することでサスが沈みコーナーリングの姿勢が出来ます。
※注　コーナリング中のフロントブレーキの過度な操作は転倒に繋がります(^^;)

4.バンク角
車両の特性的にあまりバンクしません。
NSF等に乗るよりもオケツをずらさないと、バンクが深くなり過ぎて転倒したり
車体が地面と接触したりします。
イメージオケツ片方ずらすくらいが良いと思います。

5. フロント荷重を意識
サスペンションの構造的にフロント荷重の掛かりにくい車体です。
基本的にはアンダーステアの車両ですが、
ライディングポジションである程度は改善出来ます。
荷重を掛けたい時はハンドル上あたりまで頭を持ってくるイメージで乗ると
サスが沈みやすくなりフロントの荷重が掛かりアンダーステアが多少改善されます。

6.ニーグリップではなく太ももとステップで車体をホールド
股の間にタンクがないですが、シートと太もも、ステップを踏み込む足で
車体をホールドします。
サイドカバーにブーツを当ててホールドも出来ます。

7. 万一転倒してエンジンが止まったら・・・
転倒して車体が横倒しの状態になると転倒センサーが働いて
エンジンが止まる事がありますが、その際はIGキーを一度OFFにして
再度キーをONにすれば復帰します。

最後に。。。
おそらく初めて乗る方の印象は『変なバイク』だと思います(笑)
ただ、実は奥の深い、難しいバイクという魅力もあります。
慣れないうちは無理をせず、操作をある程度覚えてから走ってみてください。
ここに載ってない乗り方の細かなコツはまだまだたくさんありますので、
興味のある方は前畑@まえ坊に気軽に聞いてください。
また、普段乗るバイクと比べながら乗ると何か新しい発見があるかもしれません。
怪我をしない様に十分気を付けつつ、体験してもらえればと思っています(*'ω'*)